



IBM

Data Infrastructure Insights

NetApp
December 19, 2024

目次

IBM	1
IBM Cleversafe データコレクタ	1
IBM CS データコレクタ	2
IBM System Storage DS8000 シリーズデータコレクタ	3
IBM PowerVM データコレクタの設定	5
IBM SAN Volume Controller データコレクタの設定	6
IBM XIV / A9000 データコレクタの設定	8

IBM

IBM Cleversafe データコレクタ

Data Infrastructure Insightsは、このデータコレクタを使用して、IBM Cleversafeストレージシステムのインベントリデータとパフォーマンスデータを検出します。



IBM Cleversafeは、管理ユニットに対して異なるRaw TBで測定されています。フォーマットされていないIBM Cleversafeの容量40TBごとに1として課金されます"管理ユニット (MU)"。

用語

Data Infrastructure Insightsは、IBM Cleversafeデータコレクタから次のインベントリ情報を取得します。Data Infrastructure Insightsで取得したアセットタイプごとに、このアセットに使用される最も一般的な用語が表示されます。このデータコレクタを表示またはトラブルシューティングするときは、次の用語に注意してください。

ベンダー / モデルの用語	Data Infrastructure Insightsの用語
ストレージプール	ストレージプール
コンテナ	内部ボリューム
コンテナ	ファイル共有
NFS共有	共有

注：これらは一般的な用語の対応のみを示したものであり、このデータコレクタのすべてのケースを表しているわけではありません。

要件

- クラスタの外部データサービスの IP アドレス
- 管理者のユーザ名とパスワード
- ポート9440

構成

フィールド	製品説明
Manager の IP 名またはホスト名	管理ノードの IP アドレスまたはホスト名
ユーザ名	スーパーユーザまたはシステム管理者のロールを持つユーザアカウントのユーザ名
パスワード	スーパーユーザまたはシステム管理者のロールを持つユーザアカウントのパスワード

高度な設定

フィールド	製品説明
インベントリのポーリング間隔 (分)	インベントリのポーリング間隔。
HTTP 接続タイムアウト (秒)	HTTP タイムアウト (秒)。

トラブルシューティング

このData Collectorの詳細については、のページまたはを["Data Collector サポートマトリックス"](#)参照して["サポート"](#)ください。

IBM CS データコレクタ

Data Infrastructure Insightsは、このデータコレクタを使用して、IBM CSストレージシステムのインベントリデータとパフォーマンスデータを検出します。

用語

Data Infrastructure Insightsは、IBM CSデータコレクタから次のインベントリ情報を取得します。Data Infrastructure Insightsで取得したアセットタイプごとに、このアセットに使用される最も一般的な用語が表示されます。このデータコレクタを表示またはトラブルシューティングするときは、次の用語に注意してください。

ベンダー / モデルの用語	Data Infrastructure Insightsの用語
ストレージプール	ストレージプール
コンテナ	内部ボリューム
コンテナ	ファイル共有
NFS共有	共有

注：これらは一般的な用語の対応のみを示したものであり、このデータコレクタのすべてのケースを表しているわけではありません。

要件

- クラスタの外部データサービスの IP アドレス
- 管理者のユーザ名とパスワード
- ポート9440

構成

フィールド	製品説明
プリズム外部 IP アドレス	クラスタの外部データサービスの IP アドレス
ユーザ名	管理者アカウントのユーザ名

フィールド	製品説明
パスワード	管理者アカウントのパスワード

高度な設定

フィールド	製品説明
TCP ポート	IBM CS アレイへの接続に使用する TCP ポート。デフォルトは9440です。
インベントリのポーリング間隔 (分)	インベントリのポーリング間隔。デフォルトは60分です。
パフォーマンスのポーリング間隔 (秒)	パフォーマンスのポーリング間隔デフォルトは300秒です。

トラブルシューティング

このData Collectorの詳細については、のページまたはを["Data Collector サポートマトリックス"](#)参照して["サポート"](#)ください。

IBM System Storage DS8000 シリーズデータコレクタ

IBM DS (CLI) データコレクタは、DS6xxx および DS8xxx のデバイスのインベントリデータとパフォーマンスデータの収集をサポートします。

DS3xxx、DS4xxx、およびDS5xxxデバイスはサポートされています["NetApp E シリーズのデータコレクタ"](#)。サポートされるモデルとファームウェアバージョンについては、Data Infrastructure Insightsサポートマトリックスを参照してください。

用語

Data Infrastructure Insightsは、IBM DSデータコレクタから次のインベントリ情報を取得します。Data Infrastructure Insightsで取得したアセットタイプごとに、このアセットに使用される最も一般的な用語が表示されます。このデータコレクタを表示またはトラブルシューティングするときは、次の用語に注意してください。

ベンダー / モデルの用語	Data Infrastructure Insightsの用語
ディスクドライブモジュール	ディスク
ストレージイメージ	ストレージ
エクステントプール	ストレージノード
固定ブロックボリューム	ボリューム
ホスト FC イニシエータ (マッピング済み)	ボリュームマスク

注：これらは一般的な用語の対応のみを示したものであり、このデータ照合のすべてのケースを表しているわけではありません。

要件

このデータコレクタを設定するには、次の情報が必要です。

- 各 DS アレイの IP アドレス
- 各 DS アレイの読み取り専用のユーザ名とパスワード
- サードパーティ製ソフトウェアをData Infrastructure Insights AUにインストール：ibm_dscli_
- アクセスの検証：ユーザ名とパスワードを使用して Run_dscli_ コマンドを実行します
- ポートの要件： 80、443、および 1750

構成

フィールド	製品説明
DSストレージ	DS デバイスの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名
ユーザー名	DS CLIのユーザー名
パスワード	DS CLIのパスワード
_dscli 実行可能ファイルのパス	dscli_executable のフルパス

高度な設定

フィールド	製品説明
インベントリポーリング間隔（分）	インベントリのポーリング間隔（分）。デフォルトは40です。
ストレージ表示名	IBM DS ストレージアレイの名前
インベントリ除外デバイス	インベントリ収集の対象から除外するデバイスのシリアル番号をカンマで区切ったリスト
パフォーマンスポーリング間隔（秒）	デフォルトは300です。
パフォーマンスフィルタタイプ	Include：リストのデバイスからのみデータを収集します。Exclude：リストのデバイスからデータを収集しません
パフォーマンスフィルタのデバイスリスト	パフォーマンス収集の対象に含めるか除外するデバイスの ID をカンマで区切ったリスト

トラブルシューティング

このデータコレクタで問題が発生した場合の対処方法を次に示します。

インベントリ

問題	次の操作を実行します
CMUC00192E、CMUC00191E、またはCMUC00190Eを含むエラーです	* 入力された資格情報と IP アドレスを確認してください。* Web管理コンソール <a href="https://<ip>:8452/DS8000/Console">https://<ip>:8452/DS8000/Console を使用して 'アレイとの通信を試みます<ip>をデータコレクタが設定されたIPに置き換えます。
エラー：* プログラムを実行できません * コマンド実行中にエラーが発生しました	* Data Infrastructure Insights Acquisition UnitからCMD* CLIのホームディレクトリ/libでCLI.CFGファイルを開き、プロパティJAVA_INSTALLを確認し、環境に合わせて値を編集します。「 java-version 」と入力して、このマシンにインストールされている Java バージョンを表示します。CLIコマンドで指定したIBMストレージデバイスのIPアドレスをpingします。* 上記のすべてが正常に動作した場合は、CLIコマンドを手動で実行します

詳細については、のページまたはを["Data Collector サポートマトリックス"](#)参照して["サポート"](#)ください。

IBM PowerVM データコレクタの設定

IBM PowerVM（SSH）データコレクタは、ハードウェア管理コンソール（HMC）で管理される IBM POWER ハードウェアインスタンスで実行されている仮想パーティションに関する情報を収集するために使用されます。

用語

Data Infrastructure Insightsは、IBM POWERハードウェアインスタンスで実行されている仮想パーティションからインベントリ情報を取得します。取得したアセットのタイプごとに、そのアセットに使用される最も一般的な用語が表示されます。このデータコレクタを表示またはトラブルシューティングするときは、次の用語に注意してください。

ベンダー / モデルの用語	Data Infrastructure Insightsの用語
hdisk	仮想ディスク
Managed System の略	ホスト
LPAR、VIO サーバ	仮想マシン
ボリュームグループ	データストア
物理ボリューム	LUN

注：これらは一般的な用語の対応のみを示したものであり、このデータコレクタのすべてのケースを表しているわけではありません。

要件

このデータコレクタを設定して使用するには、次の要件を満たしている必要があります。

- ハードウェア管理コンソール（HMC）の IP アドレス

- SSH を使用してハードウェア管理コンソール（HMC）にアクセスするためのユーザ名とパスワード
- ポート要件は SSH-22 です
- すべての管理システムおよび論理パーティションセキュリティドメインに対する表示権限

ユーザには、HMC の設定に対する表示権限も必要であり、HMC コンソールセキュリティグループの VPD 情報を収集できる必要があります。ユーザーは、論理パーティションセキュリティグループの Virtual IO Server コマンドへのアクセスも許可されている必要があります。オペレータのロールから開始し、すべてのロールを削除することを推奨します。HMC の読み取り専用ユーザには、AIX ホストでプロキシされたコマンドを実行する権限はありません。

- IBM のベストプラクティスは、2 台以上の HMI でデバイスを監視することです。これにより、原因 OnCommand Insight で重複したデバイスが報告される場合があるため、このデータコレクタの詳細設定の [デバイスを除外する] リストに冗長デバイスを追加することを強くお勧めします。

構成

フィールド	製品説明
ハードウェア管理コンソール（HMC）の IP アドレス	PowerVM ハードウェア管理コンソールの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名
HMCユーザ	ハードウェア管理コンソールのユーザ名
パスワード	ハードウェア管理コンソールのパスワード

高度な設定

フィールド	製品説明
インベントリポーリング間隔（分）	インベントリのポーリング間隔。デフォルトは20分です。
SSHポート	PowerVM への SSH に使用するポート
パスワード	ハードウェア管理コンソールのパスワード
再試行回数	インベントリの再試行回数
デバイスを除外します	対象から除外するデバイスの ID または表示名をカンマで区切ったリスト

トラブルシューティング

このData Collectorの詳細については、のページまたはを["Data Collector サポートマトリックス"](#)参照して["サポート"](#)ください。

IBM SAN Volume Controller データコレクタの設定

IBM SVC データコレクタは、SSH を使用してインベントリとパフォーマンスのデータを収集し、SVC オペレーティングシステムを実行するさまざまなデバイスをサポートします。

サポートされるデバイスには、SVC、v7000、v5000、v3700などのモデルが含まれます。サポートされるモデルとファームウェアバージョンについては、Data Infrastructure Insightsサポートマトリックスを参照してください。

用語

Data Infrastructure Insightsは、IBM SVCデータコレクタから次のインベントリ情報を取得します。Data Infrastructure Insightsで取得したアセットタイプごとに、このアセットに使用される最も一般的な用語が表示されます。このデータコレクタを表示またはトラブルシューティングするときは、次の用語に注意してください。

ベンダー / モデルの用語	Data Infrastructure Insightsの用語
ドライブ	ディスク
クラスタ	ストレージ
ノード	ストレージノード
mdisk グループ	ストレージプール
仮想ディスク	ボリューム
mdisk	バックエンド LUN とパス

注：これらは一般的な用語の対応のみを示したものであり、このデータコレクタのすべてのケースを表しているわけではありません。

インベントリの要件

- 各 SVC クラスタの IP アドレス
- ポート 22 を使用できます
- 読み取り専用のユーザ名とパスワード

パフォーマンス要件

- SVC コンソールはすべての SVC クラスタに必須であり、SVC 検出基本パッケージに必要です。
- クレデンシャルには、クラスタノードから構成ノードにパフォーマンスファイルをコピーするためだけに管理アクセスレベルが必要になります。
- データ収集を有効にするには、SSH を使用して SVC クラスタに接続し、次のコマンドを実行します。
`svctask startstats -interval 1_`

注：データ収集は SVC 管理ユーザインターフェイスを使用して有効にすることもできます。

構成

フィールド	製品説明
クラスタ IP アドレス	SVC ストレージの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名
Inventory User Name の略	SVC CLIのユーザ名

フィールド	製品説明
Inventory Password (インベントリパスワード)	SVC CLIのパスワード

高度な設定

フィールド	製品説明
インベントリポーリング間隔 (分)	インベントリのポーリング間隔。デフォルトは40分です。
パフォーマンスポーリング間隔 (秒)	パフォーマンスのポーリング間隔デフォルトは300秒です。
ダンプされた統計情報ファイルをクリーンアップする場合	ダンプされた統計情報ファイルをクリーンアップするには'このチェックボックスをオンにします

トラブルシューティング

このデータコレクタで問題が発生した場合の対処方法を次に示します。

問題	次の操作を実行します
エラー: "構成ノードで実行されていないため、コマンドを開始できません。"	このコマンドは構成ノードで実行する必要があります。

このデータコレクタで問題が発生した場合の対処方法を次に示します。

問題	次の操作を実行します
エラー: "構成ノードで実行されていないため、コマンドを開始できません。"	このコマンドは構成ノードで実行する必要があります。

このData Collectorの詳細については、のページまたはを["Data Collector サポートマトリックス"](#)参照して["サポート"](#)ください。

IBM XIV / A9000 データコレクタの設定

IBM XIV および A9000 (CLI) データコレクタでは、XIV コマンドラインインターフェイスを使用してインベントリデータを収集します。また、パフォーマンス収集は、ポート 7778 で SMI-S プロバイダを実行する XIV / A9000 アレイを SMI-S から呼び出して実行します。

用語

ベンダー / モデルの用語	Data Infrastructure Insightsの用語
ディスク	ディスク
ストレージシステム	ストレージ
ストレージプール	ストレージプール

ベンダー / モデルの用語	Data Infrastructure Insights の用語
ボリューム	ボリューム

要件

このデータコレクタを設定して使用するには、次の要件を満たしている必要があります。

- ポート要件： TCP ポート 7778
- 読み取り専用のユーザ名とパスワード
- XIV CLI が AU にインストールされている必要があります

パフォーマンス要件

パフォーマンス収集の要件は次のとおりです。

- SMI-S Agent 1.4 以降
- SMI-S 互換の CIMService がアレイ上で実行されています。ほとんどの XIV アレイにはデフォルトで cimserver がインストールされています。
- cimserver にはユーザログインを指定する必要があります。ログインには、アレイの構成とプロパティに対する完全な読み取りアクセス権が必要です。
- SMI-S ネームスペース。デフォルトは root/IBM です。これは cimserver で設定できます。
- ポート要件： HTTP の場合は 5988 、 HTTPS の場合は 5989 。
- SMI-Sパフォーマンス収集のアカウントを作成する方法については、次のリンクを参照してください。
https://www.ibm.com/docs/en/products?topic=/com.ibm.tpc_V41.doc/fqz0_t_adding_cim_agent.html

構成

フィールド	製品説明
XIVのIPアドレスを指定します	XIV ストレージの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名
ユーザー名	XIV ストレージのユーザ名
パスワード	XIV ストレージのパスワード
XIV CLI ディレクトリの完全パス	XIV CLI を含むフォルダの完全パス
SMI-S ホストの IP アドレス	SMI-S ホストの IP アドレス

高度な設定

フィールド	製品説明
インベントリポーリング間隔 (分)	インベントリのポーリング間隔。デフォルトは40分です。
SMI-S プロトコル	SMI-S プロバイダへの接続に使用するプロトコル。デフォルトのポートも表示されます。

フィールド	製品説明
SMI-S ポートを上書きします	空白の場合は、 [Connection Type] フィールドでデフォルトのポートを使用します。それ以外の場合は、使用する接続ポートを入力します
ユーザ名	SMI-S プロバイダホストのユーザ名
パスワード	SMI-S プロバイダホストのパスワード
パフォーマンスポーリング間隔（秒）	パフォーマンスのポーリング間隔デフォルトは300秒です。

トラブルシューティング

このData Collectorの詳細については、このページまたは["Data Collector サポートマトリックス"](#)を参照して["サポート"](#)ください。

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。